



2代目県立秋田図書館
(大正8年～昭和35年)

「成長する有機体としての図書館」

秋田県立図書館 副館長 吉田 孝

昨年夏、金足農業高校が県勢として百三年ぶりの甲子園準優勝を飾り、本県のみならず全国で金農フィーバーが起こったことは、まだ記憶に新しい。最初に秋田中学が準優勝した大正四年から遡ること十余年、明治三十二年に本館は開館し、今年十一月で創立百二十周年を迎える。全国でも極めて早く創設された図書館である。

開館以来、本県の学術文化・生涯学習の中核機関として幅広い役割を担ってきた。この間、資料の収集・整理・提供・保存という図書館の基本的な機能は維持しながら、その時々の変化とともに、提供するサービスや手法を変えながら今日に至っている。

冒頭のタイトルは、インドの著名な図書館学者であるランガナタン博士の「図書館学の五原則」の中の第五法則「図書館は成長する有機体である。」から取っていて、図書館司書を目指す人が必ず一度は学ぶ言葉である。本館の長い歴史の中でも、特に図書館の変化が顕著なのは、現在地に新館がオープンした平成五年以降である。開架冊数が大幅に増え、情報化社会の進展による図書館システムが導入され、インターネット環境の発展等により利用者の利便性は格段に向上した。サービス面では、平成十三年に「調べ学習コーナー」が新設され、本館としては初めて児童サービスを本格的に開始した。この他にも、ビジネス支援サービスを始めとする課題解決支援サービスにも早くから取り組むなど、継続的な変化をしながら常に新しい形を取り入れて進化してきたと言えることができる。

平成の時代が終わり、間もなく新しい時代が始まる今、本館は今後どのように新しい歴史を刻んでいくのか。ランガナタン博士の言葉は、「図書館は基本的な役割を維持しながら、新しいものを取り入れ、古いものを捨てながら、生命体として変化・成長していくものである。」と言い換えることもできる。これからも社会が求める図書館の役割をしっかりと把握し、常に成長できる図書館を利用者の皆さまと共に作り上げて行くことができると考えている。

県立図書館リニューアル

12月にいただいた10日間の休館日。この期間、図書館内では、リニューアルオープンに向けて急ピッチで作業が行われていました。これまで使用してきた蔵書検索システムやホームページの更新のほか、館内レイアウトも大きく変更しました。その一端をご紹介します。

1. 閲覧室のレイアウト変更



以前よりも広いスペースでゆったりお楽しみください。新着図書としての期間を長くして、置かれる冊数も多くなりました。

閲覧室に一步、入室していただければ一目瞭然。大きくレイアウトを変更しました。当館は図書だけでも90万冊を所蔵しており、そのうち約18万冊が閲覧室にあります。これらを皆さまがより利用しやすいように工夫しました。閲覧室入口は、進みやすいように通路を広く取っています。郷土資料コーナーには、資料保存のため日ごろお目にかけられない貴重な資料を紹介するコーナーを設置しました。また、以前入口付近にあった新着図書コーナーは、視聴覚ブースを縮小し生まれたスペースに移動設置しています。スペースも広くなりましたので、より長い期間、新着図書としてご覧いただけるようになりました。新着図書は、基本的に1週間に1回、約150冊が入ってきます。また、多くの方が貸出しで利用しますので、入れ替わりの激しいコーナーです。前はここにあったのに・・・と悔しい思いをされたことはありませんか？本との出会いも一期一会。「この本、気になる！」と思われましたら、タイトル・著者名などを控えておくことをおすすめします。

2. 使うと便利！蔵書検索システム

蔵書検索システムについては、使い勝手を良くするために、数年前から検討を重ねてきました。今回の変更はその集大成といえます。その中でも、図書館員おすすめの便利な新機能をご紹介します。

第1位 借りている本の延長

これまで来館していただかなければできなかった本の貸出期間の延長が、システム上でできるようになりました。本に限り、返却期限前で予約がない場合、1回だけ延長ができます。

第2位 順番予約

これまでのシステムでも、貸出中の本の予約は可能でした。しかし、上下巻の本を順番どおりに読みたいのに、下巻が先に入ってきた、という経験はありませんでしたか？この機能を使えば、順番どおりに予約できます。

これらの機能を利用するには、マイ図書館への登録が必要です。登録の詳細については、お問い合わせください。

ここでご紹介した機能は一部です。ほかにも便利な機能がたくさんあります。蔵書検索システムを上手に活用して、読書生活を楽しんでください。



ホームページからマイ図書館に登録し、ログインしたトップページです。ここから便利な機能が使えます。

Topics ～県立図書館の事業やイベントなどの紹介～

秋田をまなぶ講座シリーズX 音楽セミナー「旅もしくは回帰」



佐々木久春氏のジョークを交えた楽しい講話も魅力の一つです。

放送大学秋田学習センターとの連携事業「秋田をまなぶ講座シリーズ」としては今年度で10回目を迎える「音楽セミナー」。毎年恒例の秋田県民歌、「旅もしくは回帰」というテーマに沿った曲、10周年という記念すべき回を祝うような華やかな曲の合計8曲について、その楽曲を鑑賞し、その曲の背景を学びました。

講師に、秋田大学名誉教授の佐々木久春氏、二期会会員の土崎宏人氏、ピアノ伴奏に大山英子氏をお迎えし、楽しい講話と力強い歌声、美しいピアノの音色に耳を傾け、また参加者全員で秋田県民歌の合唱もしました。当日は82名の方に参加いただきましたが、参加者との活発な意見交換の時間もあり、好評のうちに終了しました。

お金と暮らしのセミナー

毎年好評をいただいている秋田県金融広報委員会との連携セミナーを、今年度は2回開催しました。

「まさか!?!に備える～あなたの保険はこのままでいい?～」と題し、金融広報アドバイザーの齋藤廣勝氏を講師に迎え、2月2日は「自然災害と火災保険」、2月16日は「生命保険の役割と選択方法」について、分かりやすく解説をしていただきました。

今回のセミナーでは、突然やってくる自然災害に対する保険の準備、各世代における生活環境や経済状況の変化に対する生命保険の見直しに関して解

説があり、セミナー終了後には多くの質問が挙がりました。参加者からは、自然災害に備えて保険をかけておくことの大切さや、高齢者になって見直しておくべき生命保険のあり方について、解説や資料が分かりやすく大変参考になったという声が多く聞かれました。



様々な事例を交えた分かりやすい解説とユーモアのある語り口が大好評でした。

第1回がん情報セミナー

今年度から、秋田大学医学部附属病院 地域医療患者支援センター・がん相談支援センターとの連携を開始しました。連携事業の一つとして、「第1回がん情報セミナー」を開催しました。『「がん」について学ぼうーがんの正体とその対策ー』と題し、秋田大学医学部附属病院 安藤秀明医師による講演とがん相談支援センターの役割や正しい情報を得る方法についての説明がありました。健康に関するセミナーは初めての開催でしたが、当日は定員を超える51名の方に参加いただき、セミナー終了後も講師や看護師へより詳しい内容を聞く姿が見られ、関心の高さがうかがえました。また、当館閲覧室には、同センターの協力により「がん情報コーナー」が設置されました。がんに関する冊子などをご覧いただけます。



がんの正体や治療法について、分かりやすく解説していただきました。

Pick up ～各班からの話題～

図書資料班

デジタルアーカイブのリニューアル



リニューアルしたデジタルアーカイブ
(左:パソコン画面・右:スマートフォン画面)

1月の図書館システムの更新にともない、県立図書館のデジタルアーカイブが、リニューアルしました。従来よりも検索しやすく、パソコンとスマートフォンで見やすいようにレイアウトを変更しています。

2月現在、画像・音声・索引など計43万9千点を超える資料が登録されており、中には書庫にあって通常見ることのできない、絵巻物の「御曹子島渡り」や「佐竹本三十六歌仙絵巻」などの貴重資料の画像もありますので、この機会にぜひご覧ください。

情報班・サービス班

「teens' library～あなたへ贈る一冊」コーナー

13歳から19歳までの10代のための本を並べているteens' コーナー。その一角に設置している小さなコーナーがあります。「teens' library～あなたへ贈る一冊」です。



大人の皆さまにもお勧めできる本が並んでいます。

このコーナーは、大人の入口にいるティーンズ世代に成人後も読書に親んでもらいたい、という願いを込めて設置したものです。並べてある本は、ここ数年の「芥川賞」「直木賞」「本屋大賞」などの受賞作のほか、図書館職員がおすすめする折り紙つきの本ばかり。

り。少し背伸びした読書を楽しんでみませんか。並べる本は定期的に変えています。あなたのお気に入りの一冊を見つけてください。

企画・広報班

秋田県子ども読書支援センターについて



おはなし会の様子

子どもの読書活動の推進を図ることを目的に、県立図書館内に設置されています。子ども読書アドバイザーと支援員（読書ボランティア）が、絵本の選び方など子どもの読書に関する相談に応じています。

相談日は、毎週木曜日と第1、3日曜日の午後1時から4時までで、「えほんのへや」で受け付けています。また、保育園や幼稚園、読み聞かせボランティア等へ、図書セットや紙芝居、大型絵本の貸出しを行っています。「えほんのへや」では、第1、3日曜日に、絵本の読み聞かせ「おはなしタイム」を開催しています。年齢別に作成された支援員おすすめの本の図書リストもあり、おすすめ本を手にとって読むこともできます。

開館時間と休館日の変更のお知らせ

教育委員会の規則改正により、平成31年4月から、開館時間と休館日を次のとおり変更いたします。

○開館時間

土・日・休日 午前9時から午後6時まで
平日 午前9時から午後7時まで
* 平日はこれまでと変更ありません

○休館日

毎週水曜日

* 詳しくは、平成31年度図書館カレンダーをご覧ください。
(閲覧室カウンターで配布しています。)

今後もより利用しやすい施設を目指すとともに、読書を身近に親しめる環境の充実を図ってまいります。